

MMC通信

発行日 平成16年12月1日(第3号)

発行元 NPO 法人MMC 卒後臨床研修センター

514-8507 三重県津市江戸橋 2-174 三重大病院卒後臨床研修部内

Tel&FAX 059-231-5429 URL <http://www.mmc-center.com>

MMC in Tokyo ～研修医セミナーに参加！～



MMC 卒後臨床研修センターでは、去る11月23日(祝)赤坂プリンスホテルで開催された、医学生のための臨床研修指定病院合同セミナー～レジナビフェア 2004 in Tokyo(主催:メディカル・プリンシプル社)に初出展した。78病院(7病院はグループ参加)の出席

に対し、1306名の学生が参加する大規模なものであった。特に、リクルートスーツを着た4年生以下の学生の参加も目立ち将来への「就職」への関心の高さが伺えた。MMC 卒後臨床研修センターからは、三重大学医学部付属病院 安井浩樹講師、県立志摩病院 吉村平副院長、県立総合医療センター 谷口晴記診療部長、三重県健康福祉部 岩城孝明技師の4名が参加し、訪れた学生に対して三重県の医療の現状、研修病院の紹介などを行った。またプレゼンテーション会場では、安井講師が、NPO 法人としての三重県での卒後臨床研修充実への取り組み状況などについて、全国の学生に向けて語った。学生側からの意見としては、研修の内容そのものに加えて、3年目以降の身分や研修が、どのようになるのかといった質問が多く出され、臨床研修、後期研修併せて明確なデータを提示しての説明が、今後さらに求められると思われた。ユニークなものとしては、「鈴鹿サーキットで医者をするにはどうしたらよいか?」とか、「関西へ行くと、関西弁じゃないとバカにされるというのは本当か!」といった、質問も出され、現場で対応した各先生も、たじたじになる場面もあった。

平成16年度マッチングの結果について

去る10月28日(木)、平成17年度のマッチングの結果が一斉に公表された。マッチ者数はMMC 全体としては、56名と、昨年の67名に比べて大幅な減少となったが、その後の追加採用等含めると、ほぼ昨年並の水準となりそうだ。マッチング終了時より、定員を充足した四日市市立病院、鈴鹿中央病院、松阪中央病院に加えて、県立総合医療センター、鈴鹿回生病院、済生会松阪病院でも最終的にはほぼ定員を充足する見通しだ。その一方で、山田赤十字病院、市立伊勢総合病院、志摩病院などでは、昨年比減となっており、県南部の病院で苦戦する傾向が見られた。新規参入病院では、山本総合病院(厳密には2年目)が3名、名張市立病院が2名のマッチ者を出し健闘したのに対し、津生協病院、岡波総合病院、尾鷲総合病院、紀南病院でマッチ者が出ず、他の各病院でも定員割れを認めた。三重大学病院では、20名と募集人数を絞り込んだ2年目の挑戦であったが、マッチ者数は6名とふるわなかった。充実した、卒前教育と後期研修を特徴とし、地域の医療を担う同院としては、それらをつなぐ卒後研修の充実が、緊急かつ重要な課題であると考えられる。今後センターとしては、現研修医や新研修医に対するアンケートを中心として、今回の結果や今後の動向を分析していく予定である。

～情報コーナー～

第一回MMC卒後研修臨床懇話会 (研修医症例発表会) 演題募集のお知らせ

<日程> 平成17年2月5日(土)

13:30～(症例発表と表彰式、懇親会)

<場所> ホテルグリーンパーク津

<詳細> iiPodmini他豪華賞品を研修医、指導医に用意しています。どしどし応募して下さい。詳細はHPから。

第二回MMC新臨床研修指導医養成講習会参加者募集

<日程>

平成17年3月4日(金)～6日(日)

<場所> 鈴鹿サーキットフラワーガーデンホテル

<詳細> 参加受付中です。厚生労働省の指針に則った講習会で、受講者には修了証が発行されます。詳細はHPから。

第二回MMC Advanced OSCE大会(予告)

<日程> 平成17年3月26日(土)

<場所> 鈴鹿中央病院

平成17年度研修医オリエンテーション(予告)

<日程> 平成17年4月4日(月)、5日(日)

<場所> 三重大学病院

医療安全、医療接遇、患者さんの人権、医療倫理などのプログラムを予定しています。

平成17年度MMC臨床研修合同説明会(予告)

<日程> 平成17年4月30日(土)

<場所> 三重県総合文化センター

後期研修ガイドについて

三重大学病院卒後臨床研修部では、3年目からの研修ガイドをHP上で公開しています。

(<http://www.medic.mie-u.ac.jp/resident/>)